

# 令和4年度 自己評価・学校関係者評価報告書

学校法人西田学園 日の丸幼稚園

## 1. 本園の教育目標

- ・健康・安全な日常生活の習慣をみにつける。 ・愛情、感謝、協調、親切の精神を養う。
- ・物事を自分で考える思考力を増強する。 ・約束やきまりを守る、几帳面な性格を養う。
- ・最後までやり通す日常の生活習慣を養う。

## 2. 本年度の重点的に取り組む目標・計画

本園の教育理念・教育方針のもと、教職員改めて振り返り、周知徹底をする。コロナ禍での教職員の在り方、子ども同士の関わりを工夫し、コロナで出来なかった行事を考えて行う。また、安全面の配慮を徹底して行う。

## 3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評価内容	評価	評価の理由や取り組み内容
保育の在り方	B	毎年の課題である安全面での配慮、保育者の意識を徹底した。コロナ禍で、色々な体験が出来てない園児が多く、もっと多くの体験が出来る様に、日々の保育を工夫したい。
保護者への対応	B	今年度も新型コロナ対策で、保護者の方には園に入る事を遠慮して頂く対策をとった。行事は、クラス毎という形となった。保護者の方の協力を得られ、昨年度よりは出来る行事を考えたが、日々の日常を見る事があまり出来なかった。
衛生管理	A	クラスの少人数、机の間隔、換気等を十分に行い、コロナが流行った時も、学級閉鎖を行う事はなく、衛生管理を徹底できた。

評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する

## 4. 幼稚園評価の具体的な目標の総合的な評価結果

評価 A:達成している B:一部達成している C:一部改善を要する D:改善を要する

評価	理由
B	幼稚園の教育目標や理念を、全教職員が認識する事が出来た。コロナ禍での環境構成を意識し、保護者の方の協力も得る事が出来た。コロナでの経験が少ない園児が増え、1人ひとりの配慮や、保育の内容を見直して行きたい。

## 5. 今後取り組む課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	遊具などの危険箇所、遊具の利用方法。アレルギー等の再度の周知。
地域との連携強化	コロナ禍での、地域との連携が何か出来るか考え、実施していきたい。
体力低下	指導計画を見直し、日々の中でも体を動かせるようにする。

## 6. 学校関係者評価委員会の評価

今年度もコロナの中、少しずつ緩和はされてきましたが、昨年同様、園全体が感染対策をきっちりして頂き、制限された中で試行錯誤をしながら、新しく出来た行事等もありました。保護者も一緒に楽しめるようにと行事内容も色々工夫して頂き、子どもたちはもちろん参加された保護者の方も、子どもたちの成長を時間することができ感謝しております。

園の先生方は子どもたちだけではなく、保護者の事も気にかけて下さり、気さくに話が出来るとアットホームな幼稚園です。子どもたちがルールを守り、素直で優しい、元気いっぱいな子に育つようにと、日々努力をして下さる先生方がたくさんいる素敵な園だと思います。